

## 履修モデル

### 生物環境科学分野で研究者をめざす学生のための履修モデル

想定される具体的な進路・職種	研究者
----------------	-----

総合学術特論Ⅰ・Ⅱを学び高度な教養教育の素養を身につけ、自然・環境科学専修分野の専修科目を土台に生物・環境科学コースで、海洋資源構造学、生物情報学、資源生物機能学、生物集団システム論を履修し、物質・環境科学コースでは物質情報学、分子設計化学、環境システム論、生態機能科学それぞれの科目の理解を深め、さらに人間科学専修分野の人間行動学と遺伝子情報解析学を学び、本研究科が人材養成目的とする高度専門職業人としての素養を身につけたうえで、本研究科の博士後期課程に進学し、研究者をめざす人のための履修モデルです。

■ - 必修科目 ■ - 選択科目

コース	授業科目
総合コア	総合学術特論Ⅰ 総合学術特論Ⅱ
物質・環境科学	物質情報学特論 分子設計化学特論 環境システム論特論 生態機能科学特論
生物・環境科学	海洋資源構造学特論 生物情報学特論 資源生物機能学特論 生物集団システム論特論 生物・環境科学特別研究
心理学	人間行動学特論
生命科学	遺伝子情報解析学特論
関連科目	

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

### 物質環境科学分野で研究者をめざす学生のための履修モデル

想定される具体的な進路・職種	公的研究機関、企業研究部門
----------------	---------------

総合学術特論Ⅰ・Ⅱを学び、自然・環境科学専修分野における物質・環境科学コースにおいて、物質情報学、分子設計化学、環境システム論、生態機能科学のいずれかを入学時に選定して有機物質や生命関連物質とそれらの環境とのかわりについて研究します。さらに、生物・環境科学コースの生物情報学、資源生物機能学、生物集団システム論などの特論の履修により生物・環境分野の理解を深めるとともに、人間科学専修分野の人間行動学、老年心理学、健康行動学、生体機能制御学などを学ぶことにより、学際的かつ高度な教養教育の素養を身につけた高度専門職業人として、公的研究機関や民間企業の研究部門への就職をめざす人のための履修モデルです。

■ - 必修科目 ■ - 選択科目

コース	授業科目
総合コア	総合学術特論Ⅰ 総合学術特論Ⅱ
物質・環境科学	分子設計化学特論 環境システム論特論 生態機能科学特論

コース	授業科目
	物質・環境科学特別研究
生物・環境科学	生物情報学特論 資源生物機能学特論 生物集団システム論特論
心理学	老年心理学特論
生命科学	健康行動学 生体機能制御学特論
関連科目	

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

### 心理学系を専門とする公務員をめざす学生のための履修モデル

想定される具体的な進路・職種	公務員（心理職、社会福祉職）
----------------	----------------

総合学術特論Ⅰ・Ⅱを学び高度な教養教育の素養を身につけ、人間科学専修分野における専修科目を土台に心理学コースで、近代人間学の基礎知識、人間行動の科学的理解の習得方法、健康の維持・増進のための心理学からの貢献の方法などを学び、生命科学コースでは、健康行動学や生体機能制御学により、医学・生理学的知識を学び、関連授業科目の多文化共生論、文化社会学といった専門的教養の要素を持った科目の学びから学際的な研究をすることによって、本研究科が人材養成目的とする高度専門職業人としての素養を身につけたうえで、心理学系を専門とする公務員などをめざす人のための履修モデルです。

■ - 必修科目 ■ - 選択科目

コース	授業科目
総合コア	総合学術特論Ⅰ 総合学術特論Ⅱ
物質・環境科学	環境システム論特論
生物・環境科学	生物情報学特論
心理学	社会心理学特論 老年心理学特論 人間行動学特論 心理学特別研究
生命科学	健康行動学特論 生体機能制御学特論
関連科目	多文化共生論特論 文化社会学特論

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

### 生命科学分野で研究者をめざす学生のための履修モデル

想定される具体的な進路・職種	公的研究機関、企業研究部門
----------------	---------------

総合学術特論Ⅰ・Ⅱを学び高度な教養教育の素養を身につけ、人間科学専修分野における生命科学コースにおいて、薬効解析学、健康行動学、生体機能制御学、身体運動科学、遺伝子情報解析学、長寿科学のいずれかを専攻して、生命と環境とのかかわりについて研究します。さらに、物質・環境科学コースの物質情報学、分子設計化

学、生態機能科学などの特論の履修により物質・環境分野の理解を深めるとともに、心理学コースの人間行動学、社会心理学、老年心理学などを学ぶことにより、学際的かつ高度な教養教育の素養を身につけた高度専門職業人として、公的研究機関や民間企業の研究部門への就職をめざす人のための履修モデルです。

■ - 必修科目 ■ - 選択科目

コース	授業科目
総合コア	総合学術特論Ⅰ 総合学術特論Ⅱ
物質・環境科学	物質情報学特論 分子設計化学特論
生物・環境科学	生物情報学特論
心理学	人間行動学特論 社会心理学特論 老年心理学特論
生命科学	健康行動学特論 生体機能制御学特論 遺伝子情報解析学特論 長寿科学特論 生命科学特別研究
関連科目	多文化共生論特論

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。